

# CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)フォレストブレイスⅡ街区(03棟)	階数	地上14F
建設地	福岡市東区香椎照葉六丁目28番29の一部	構造	RC造
用途地域	第二種住居地域、景観形成地区(一般)、法第22条区	平均居住人員	360人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	
竣工年	2021年2月 予定	評価の実施日	2019年5月28日
敷地面積	3,597㎡	作成者	牧 敦司
建築面積	1,218㎡	確認日	2019年5月28日
延床面積	10,559㎡	確認者	牧 敦司



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.5** ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆ (30%) ☆☆☆☆☆ (60%) ☆☆☆☆☆ (80%) ☆☆☆☆☆ (100%) ☆☆☆☆☆ (100%超)

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	96%
③上記+②以外の	96%
④上記+	96%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 3.4

<h4>Q1 室内環境</h4> <p>Q1のスコア = 3.1</p>	<h4>Q2 サービス性能</h4> <p>Q2のスコア = 3.6</p>	<h4>Q3 室外環境 (敷地内)</h4> <p>Q3のスコア = 3.7</p>
<h4>LR 環境負荷低減性</h4> <p>LRのスコア = 3.4</p>		
<h4>LR1 エネルギー</h4> <p>LR1のスコア = 4.0</p>	<h4>LR2 資源・マテリアル</h4> <p>LR2のスコア = 3.0</p>	<h4>LR3 敷地外環境</h4> <p>LR3のスコア = 3.1</p>

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 独自の環境配慮指針を有するアイランドシティ地区において、環境配慮指針やデザインガイドラインに沿って計画を進めている。緑化率30%超の敷地内緑化、ガスコージェネレーションシステムの導入など、特に環境に配慮した計画としている。	<b>その他</b> アイランドシティ内での住宅供給や、TCAなどの住民参加の取り組みは、「アジア・グリーン健康住宅区モデル賞」や、日本都市計画学会の「九州まちづくり賞」、「2018年アジア都市景観賞」など多数の景観や環境づくりに関する表彰を受けている。	
<b>Q1 室内環境</b> 開口部は複層ガラスとし温熱環境の向上に配慮した。また、内装材は全てF☆☆☆☆の健康素材を採用している。	<b>Q2 サービス性能</b> 福祉のまちづくり条例の誘導基準相当のバリアフリー性能で、お年寄りから子育て世代まで全ての人に優しい性能を保っている。また、モデルルームを建設する中で、計画内容を確認し、機能的で使いやすい建物としている。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 計画にあたり、街全体で生物多様性に配慮した外部環境づくりに心掛けている。また、街角広場の設定など地域に開かれた外部環境を計画している。
<b>LR1 エネルギー</b> 省エネルギー計画書の中で、各住戸が一次エネルギー消費基準を満たしている事を確認している。また、LED照明やエネルギー消費量の少ない設備機器を導入し、省エネに努める一方で、燃料電池(エネファーム)の全戸設置で創エネもおこなっている。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> F☆☆☆☆の内装素材などの資源マテリアルの採用をおこなっている。	<b>LR3 敷地外環境</b> 街区レベルで、緑化率30パーセントを実現する緑豊かな外部環境に囲まれている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される